

北アルプス(金木戸川・高瀬川源流部)森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	中部森林管理局 中信森林管理署・飛騨森林管理署
所在地	長野県大町市、岐阜県高山市
面積	8,099.39 ha
設定年月日	平成6年3月22日
保護林の概要 (設定目的)	日本海型気候から太平洋型気候への推移帯である本州中部に位置する。標高が1,300m～3,200mの範囲に及ぶことから、北アルプス(飛騨山脈)を代表する原生的で多様な天然林が存在している。自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和5年度
調査項目	森林詳細調査、高山植生調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査(毎木調査・植生調査)を3プロット、高山植生調査を1プロット、森林概況調査として植物相調査・定点写真撮影を実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	過年度調査と比較して大きな変化は確認されず、保護林の健全性は保たれている。これまでの調査では二ホンジカの影響等による森林や高山植物群落の顕著な変化は確認されていないものの、周辺の保護林では二ホンジカの被害や痕跡が確認されていることと併せて、気候変動や夏の渇水等により高山植生に影響が生じる可能性も考えられるため、今後も定期的にモニタリングを継続することが重要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。